

## 白にこだわって面白いまちに

### 白石百白祭り・初夏の陣

6月26日、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送っていた「白石百白祭り・初夏の陣」が3年ぶりにすまいる広場で開催されました。このイベントは、うーめん、和紙、くずの白石三白の「白」にこだわった新たな宝物や名物を発掘して白石を盛り上げようと「百白プロジェクト」が主催したものです。

この日、広場ではうーめんを使用したうーめんワッフル、「白」にちなんだ商品や地場産品などを販売したほか、ステージでは「初夏の陣ライブ」を開催。寿丸屋敷では和菓子作りのワークショップや梅花藻を表現した和菓子を提供するお抹茶コーナーなどが用意され、多くの来場者でにぎわっていました。

また、市内高校に通う生徒がライブ演奏を披露したり、竹や食器で作るテーブル盆栽「座景」のワークショップに参加したりして一緒に祭りを盛り上げていました。



1\_職人からの指導を受けながら和菓子作りに挑戦 2\_高校生によるステージ発表の様子

## 夢をかなえるために

### 楽天イーグルス 未来塾

6月10日、大平小学校で元プロ野球選手の楽天イーグルスアカデミーコーチ石田隆司さんを講師に招いた「楽天イーグルス未来塾」を開催し、4～6年生50人が参加しました。この取り組みは、楽天イーグルスアカデミーコーチらが講師として、「夢」・「目標」を持つことの大切さについて、講師の体験談を交えながら小中学生に伝える取り組みです。

石田アカデミーコーチは、プロ野球選手を目指したきっかけや4年間の現役生活、引退後に新たな夢をかなえるため大学に入学した体験を振り返りながら児童に「努力をしても成功するとは限らないが、夢をかなえた人は必ず努力をしている。目標に向かって興味を持ち続け、努力を続けてほしい」と話していました。

参加した児童は「努力を続けると良いことがあると思います。途中であきらめないでがんばりたいです」と話してくれました。



1\_高校時代に場外ホームランを打たれ、負けたくないという思いでそこから努力した体験を話す石田アカデミーコーチ 2\_バッティング指導を受ける貴重な体験！ 3\_退場時は全員を最後まで見送ってくれました

## 地域とともに、33年の功績

### 青麻少年野球クラブが功績賞を受賞

本市スポーツ少年団の「青麻少年野球クラブ」が宮城県スポーツ少年団の令和3年度表彰で功績賞を受賞しました。同クラブは平成元年に深谷小学校の児童を対象に発足。その間姉妹都市交流大会に参加するなど、スポーツを通して児童の健全育成に取り組んだ長年の功績がたたえられたものです。

同クラブ指導者である青柳護さんは「地域に支えられ、長年の活動がこのように形で表彰されてとてもうれしいです」と話してくれました。



▲6月5日に行われた白石市学童野球大会で受賞を報告し、山田市長らと記念撮影をする青麻少年野球クラブの皆さん

## 旅先と郷土のつながりを学ぶ

### 戊辰戦争時の白石と会津

6月23日、白石第一小学校で修学旅行に向けた事前学習として戊辰戦争時の白石と会津のつながりを学ぶ授業を郷土史家の櫻井和人さんが行いました。

授業では、新政府軍から会津藩を救うために仙台藩をはじめとした東北の大名が白石に集結した白石会議や奥羽越列藩同盟について児童に分かりやすく説明しました。授業を聞いた児童は「今日学んだことを思い出しながら鶴ヶ城などを見てきたいです」と話してくれました。



▲講師の話熱心に聞く児童

## 白石の美味しいがたっぷり

### 「しろいたっぷりん」ゆうパック出発式

7月1日、「しろいたっぷりん」ゆうパック出発式がおもしろい市場で開催されました。今回日本郵便株式会社のふるさと小包で取り扱いが始まった「しろいたっぷりん」は白石産の牛乳と卵、ソースにササニシキを使ったプリンです。

この日、出発式で大沼芳則柴田郵便局長は「白石のおいしさが詰まった商品を郵便局のネットワークで届けたいです」と笑顔であいさつ。関係者が見守る中、商品を積んだ第1便が全国に向けて出発していきました。



▲第1便のトラックを見送る関係者たち